

## 分類名 [果樹]

# 2 リンゴ台木「JM2」「JM5」の特性

### 園芸試験場

#### 1) 取り上げた理由

挿木繁殖性に優れた台木の「JM1」、「JM7」、「JM8」を普及に移す技術第72号で参考資料としたが、新たに同様の特徴を持つ半わい性台木「JM2」と極わい性台木「JM5」の特性が明らかになったので参考資料とする。

#### 2) 参考資料

##### (1) JM2

- a 来歴：果樹試験場リンゴ支場で、昭和47年にマルバカイドウ「セイシ」に「M.9」を交雑して育成した。
- b 特性：わい化度は半わい性で、「M.26EMLA」を台木として用いたときよりも樹体は大きくなる。耐水性は強い。挿木活着率が高い。台木として用いた場合にはヒコバエがやや発生する。根部疫病、ACLSV、ASPV、斑点落葉病に抵抗性で、リンゴワタムシには感受性である。「ふじ」との親和性は良好である。

##### (2) JM5

- a 来歴：「JM2」と同じ。
- b 特性：樹勢は「M.27」クラス。耐水性は強い。挿木活着率が高い。ヒコバエは発生しやすい。根部疫病、リンゴワタムシ、ASPV、斑点落葉病に抵抗性で、ACLSVには感受性である。「ふじ」との親和性は良好である。「JM5」に接木した穂品種の果実品質は、糖度、硬度が他の台木より高い。

#### 3) 対象地域等

県下一円

#### 4) 特に留意すべき事項

- (1) 「JM5」はACLSVに感受性なので、接穂にはACLSV無毒のものを用いる。
- (2) 「JM5」は非常に樹勢が弱いので、相当に肥沃な園地を除いて補助根としてマルバカイドウを用いるのが望ましく、倒伏防止のための支柱が必要である。

#### 5) 背景となった主要な試験研究

- (1) 研究機関及び担当部科名 園芸試験場 栽培部 果樹科
- (2) 研究課題名及び研究期間 果樹の優良品種の選定と栽培法の確立 昭和62～平成9年

(3) 参考データ

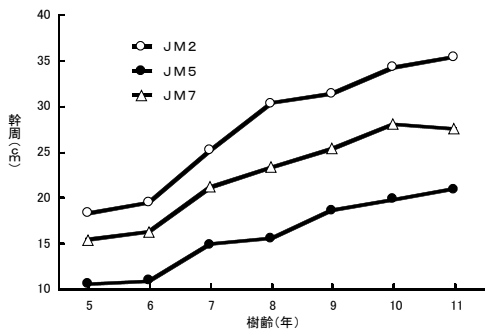


図-1 台木の種類が「ふじ」の幹周に及ぼす影響

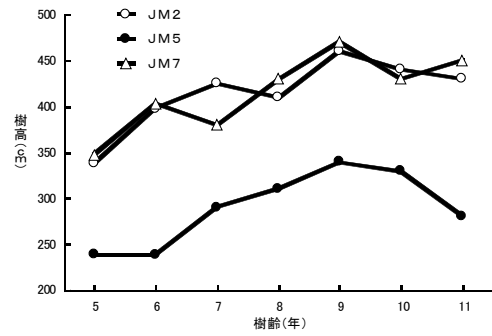


図-2 台木の種類が「ふじ」の樹高に及ぼす影響

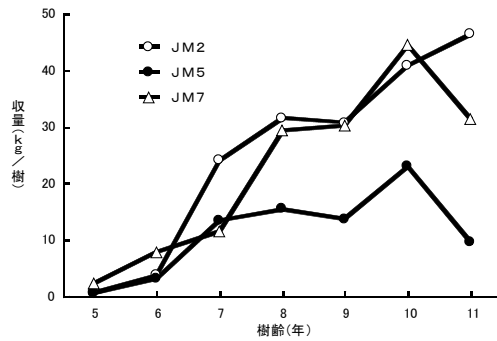


図-3 台木の種類が「ふじ」の1樹当たりの収量に及ぼす影響

表-1 台木の種類別発根程度

台木	台木発根率 (%)	発根量指数
JM2	100	3.0
JM5	67	2.0
JM7	100	2.8

表-2 台木の種類が「ふじ」の1果重と果実品質に及ぼす影響

台木	1果重 (g)	硬度 (lb)	糖度 (Brix)	酸度 (%)
JM2	300	16.1	14.8	0.35
JM5	317	17.2	15.5	0.43
JM7	289	16.7	14.8	0.47

注) 発根量指数は、以下の基準による  
多: 3 中: 2 少: 1 無: 0

(4) 発表論文等

なし。